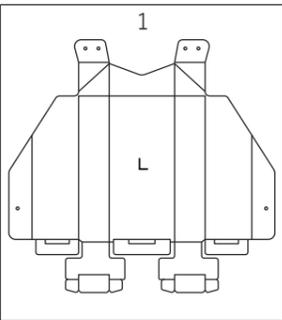
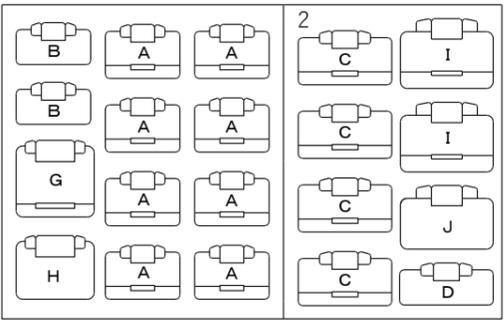
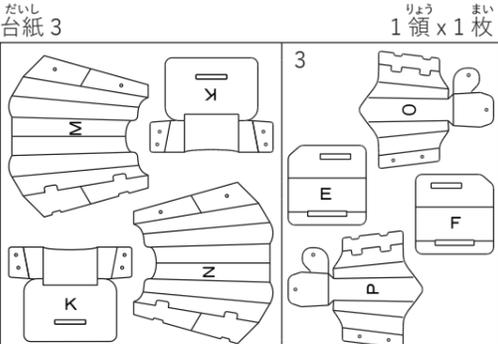
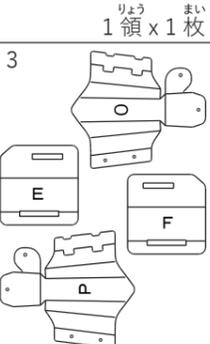


# ダンボール 組立説明書

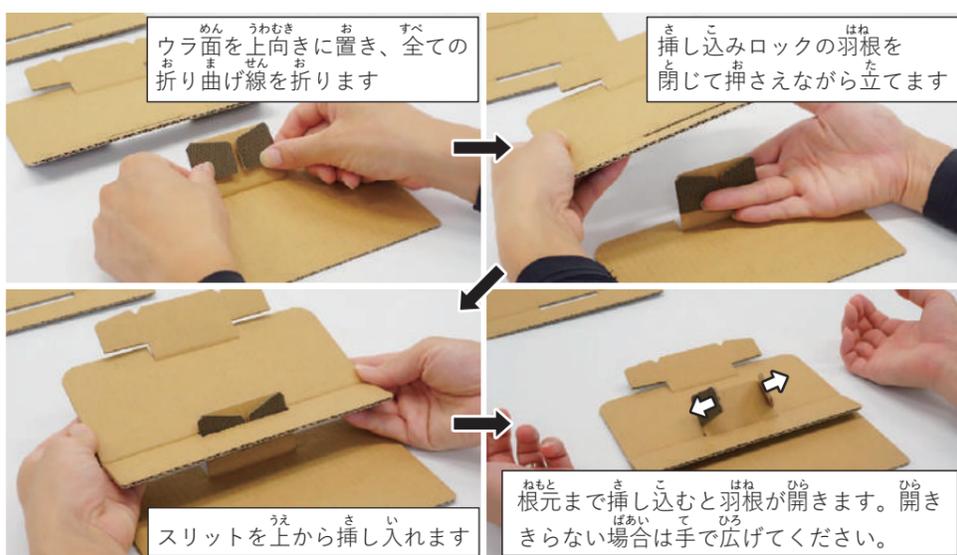
**注意** 組み立ての前にお読み下さい

- 組み立て時には手など切らないよう十分に気をつけてください。
- 火や水に絶対近づけないでください。
- 極端な高温・低温または、高温低温などの環境下で使用すると急速に劣化する恐れがあります。
- 組み立ては確実に行って下さい。組み立てがしっかりと行われていないと、トラブルの原因となる可能性があります。
- 甲冑は黒色の面がオモテ面、茶色の面がウラ面です。
- 装着は二人以上で行うと装着しやすくなります。
- 部材同士をつなぐため輪ゴムや紐の他に「挿し込みロック」という形状を用いて組み立てます。

## セット内容

<p>台紙 1 1領 x 2枚</p> 	<p>台紙 2 1領 x 2枚</p> 	<p>輪ゴム 1領 x 14本</p> <p>紐 1領 x 6本</p> <p>パッチシール 1領 x 1シート (40片)</p> <p>組み立て説明書 1箱 x 1枚 (本紙)</p>
<p>台紙 3 1領 x 1枚</p> 	<p>3</p> 	

## <挿し込みロックの組み立て方>



ウラ面を上向きに置き、全ての折り曲げ線を折ります

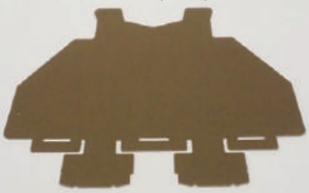
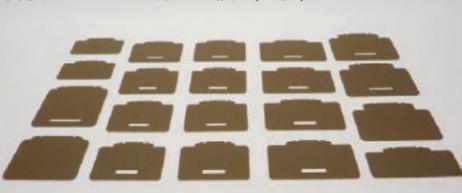
挿し込みロックの羽根を閉じて押さえながら立てます

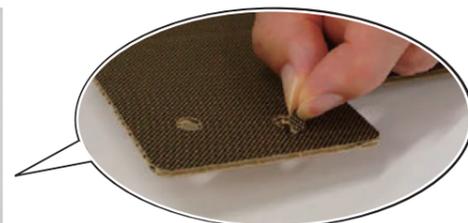
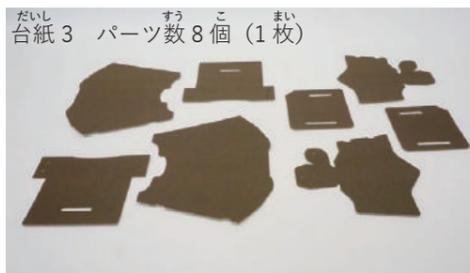
根元まで挿し込むと羽根が開きます。開ききらない場合は手で上げて下さい。

スリットを上から挿し入れます

## 組み立て方

【1】すべてのパーツを台紙から取り外します。

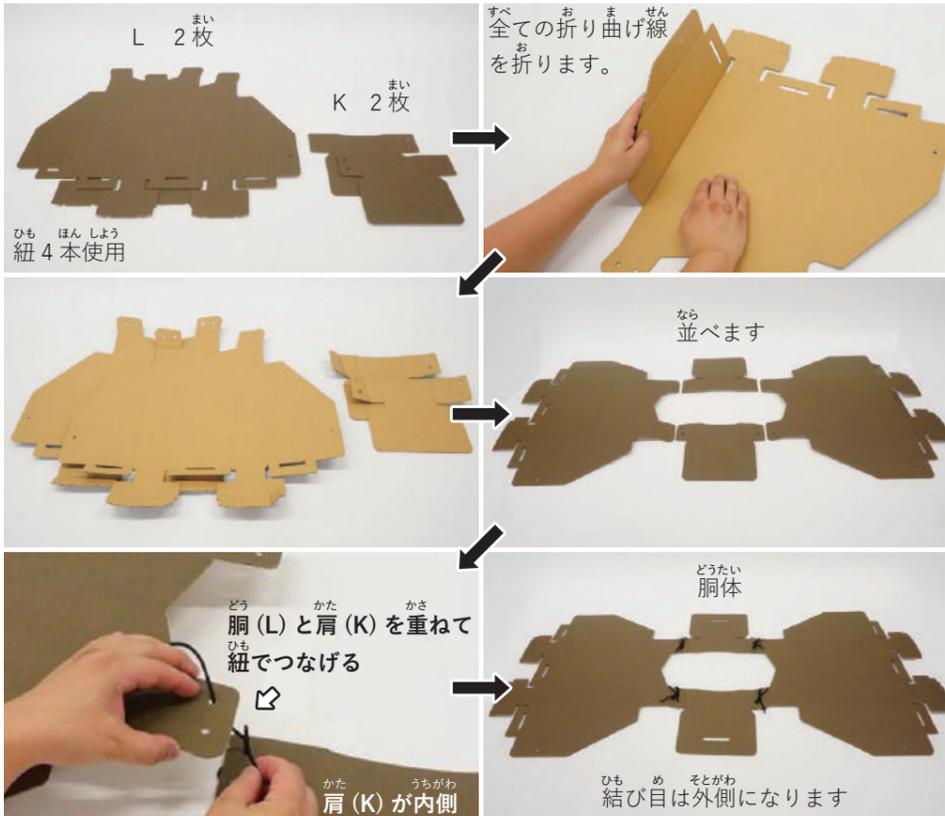
<p>台紙 1 パーツ数 1個 (2枚)</p>  <p>正面と背面は共通パーツ</p>	<p>台紙 2 パーツ数 20個 (2枚)</p> 
---	--



【2】L、O、P、M、N、Kの丸穴のウラ側にパッチシールを貼ります。丸穴は全部で32カ所です。



【3】LとKをつなげる。



L 2枚 K 2枚

すべての折り曲げ線を折ります。

ひも 紐 4本使用

並べます

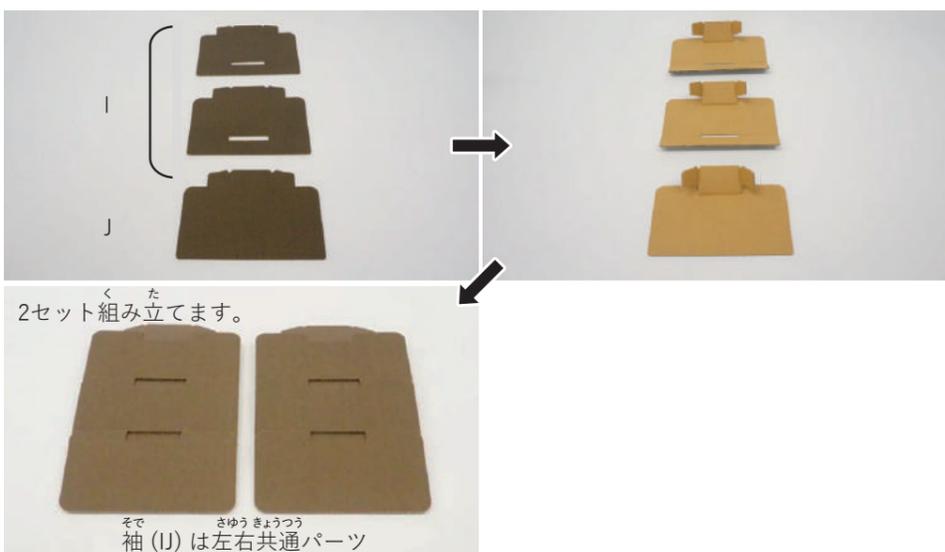
胴体

胴 (L) と肩 (K) を重ねて紐でつなげる

肩 (K) が内側

結び目は外側になります

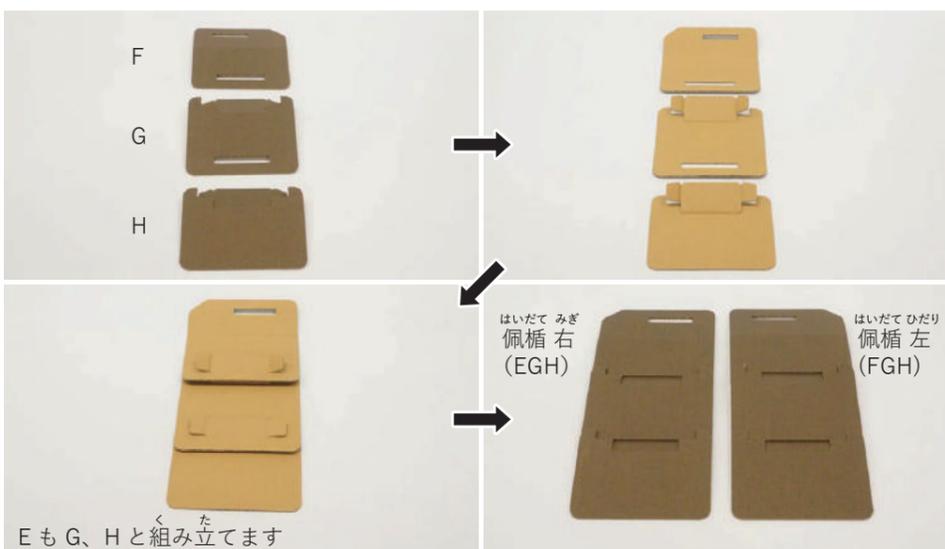
【4】袖の組み立てます。(挿し込みロック)



2セット組み立てます。

袖 (I) は左右共通パーツ

【5】佩楯を組み立てます。(挿し込みロック)



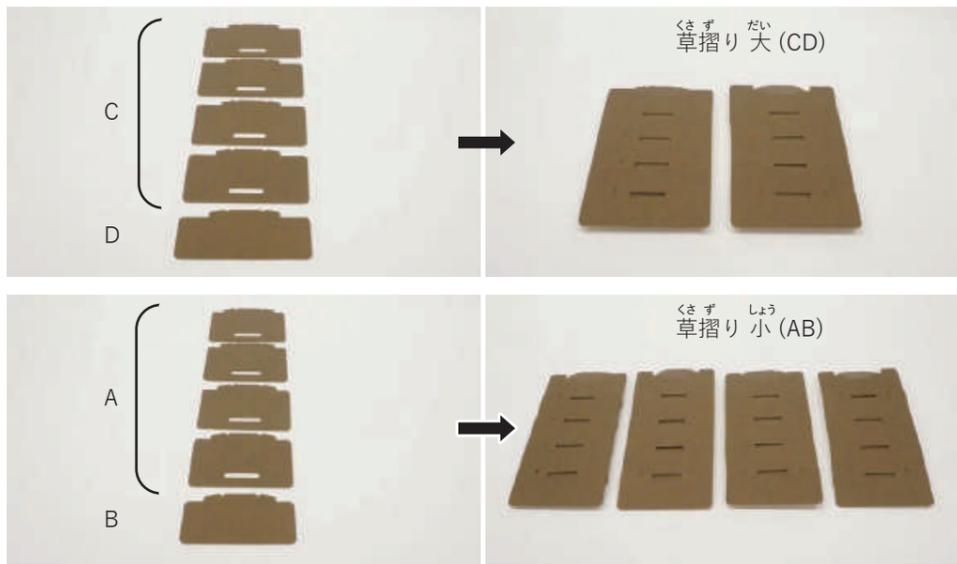
F G H

佩楯右 (EGH)

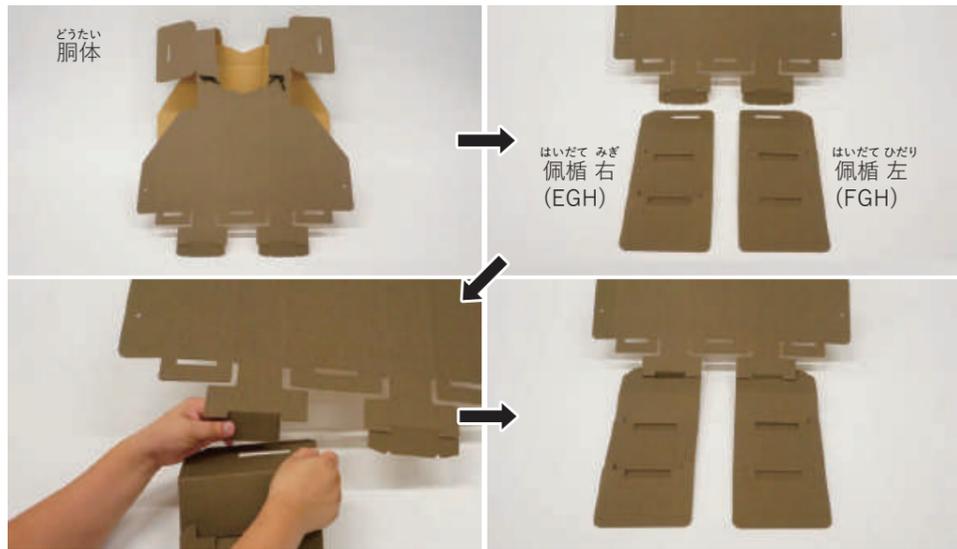
佩楯左 (FGH)

EもG、Hと組み立てます

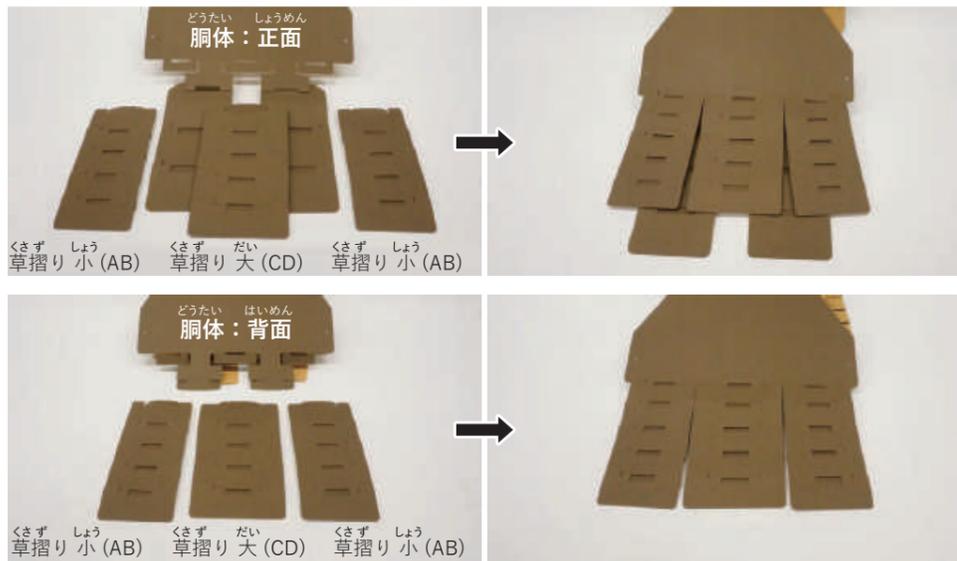
【6】草摺りを組み立てます。(挿し込みロック)



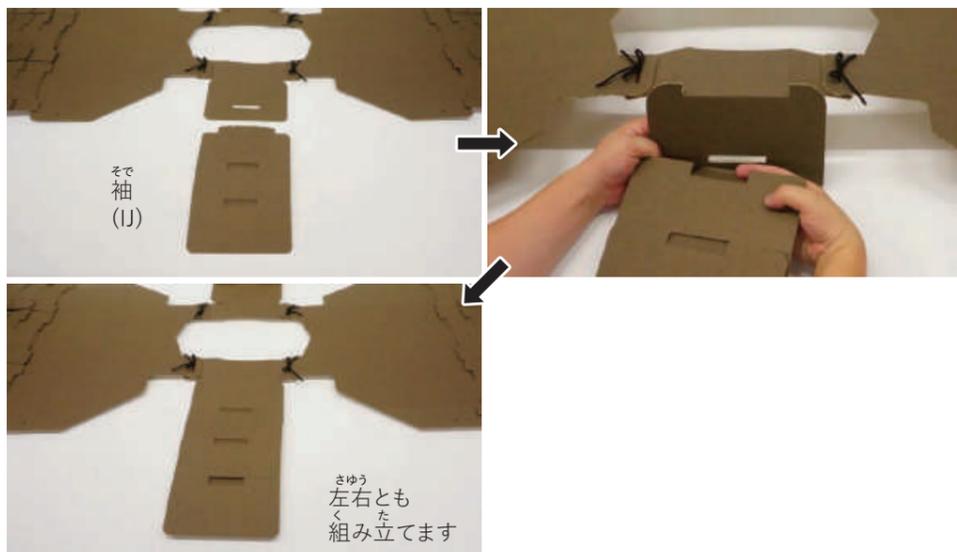
【7】佩楯と胴体をつなげる。佩楯は正面のみです、背面にはつきません。(挿し込みロック)



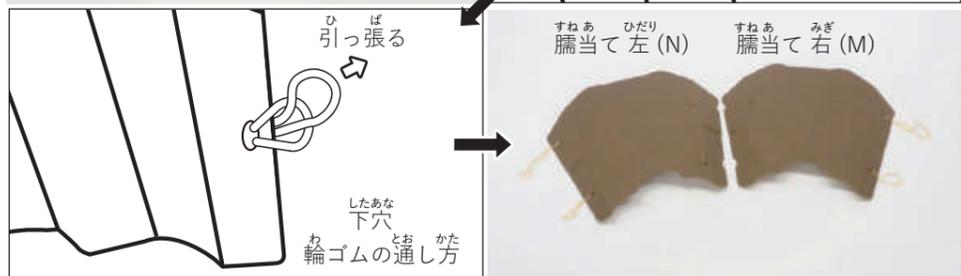
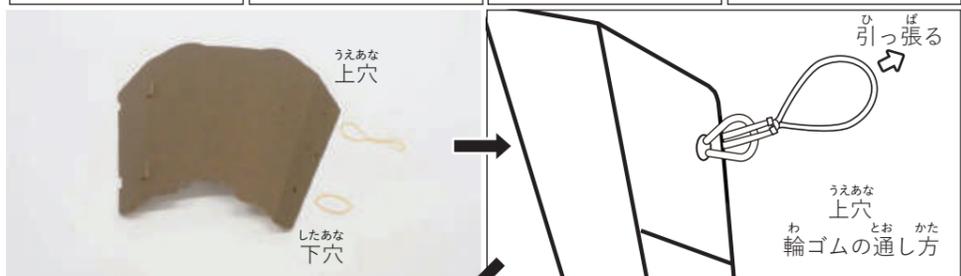
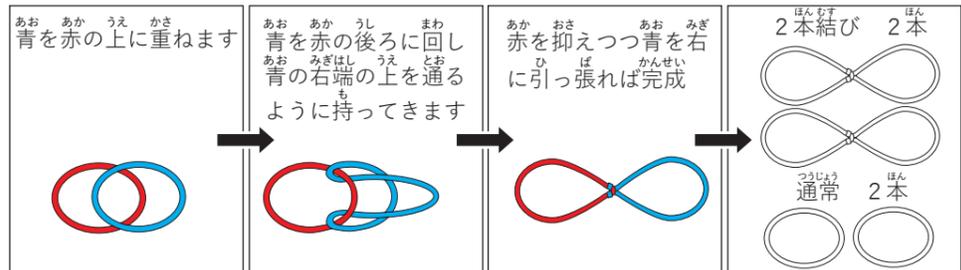
【8】草摺りと胴体をつなげます。(挿し込みロック)



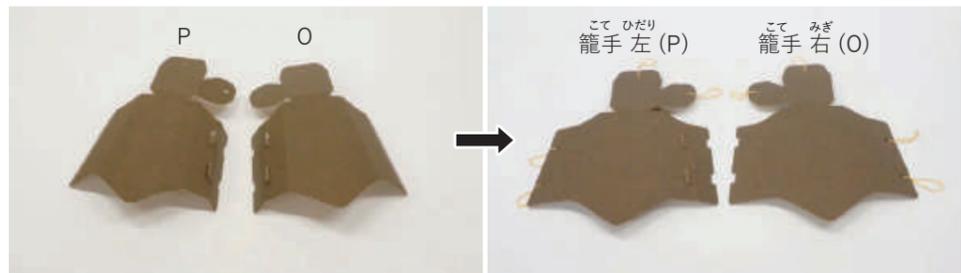
【9】袖と胴体の肩とつなげます。(挿し込みロック)



【10】臑当てを組み立てます。

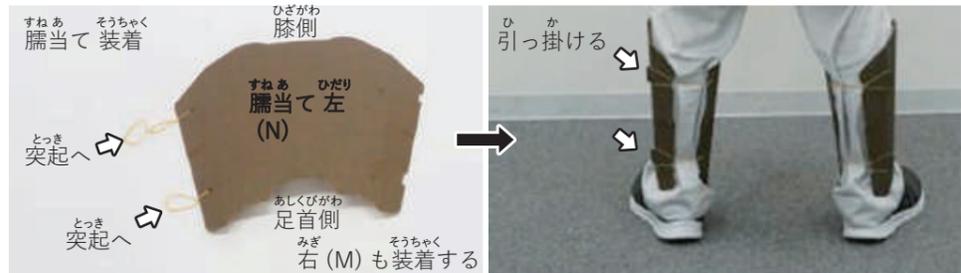


【11】籠手を組みます。本体のように折り癖をつけ、輪ゴムを結びつけます。



装着

全パーツを装着します。



完成

